

質疑1. 学生時代に何をしたか

- ▶ ●学生時代になにをしたか？やっておいてよかったこと、社会人になってから生かされていることは何か。また、後悔していることは何か。
- ▶ A 商大ではほぼ毎日クラブ活動。高校時代好きで学んだ英語は大学でも多少勉強した。今思うとそれが役に立った。反省として、在学中に会計、金融、法律、経済学、簿記などをもっと学ぶべきだった。
- ▶ ●部活動優先にし、勉強が後回しになっているのですが、大学生活はやはり勉強に費やしたほうがよいのでしょうか？
- ▶ A 部活で心身を鍛えることも大事。ただそれだけにならないように。文武両道、文理両道。
- ▶ ●勉強などは社会人になっても頑張ればできると思うのですが・・・
- ▶ A 基礎的な知識習得には時間がかかるもの。今、時間があるなら有効に時間を使ったほうがいい。
- ▶ ●現在日商簿記を勉強しているのですが、商工会議所では簿記の知識を実際、使いますか。
- ▶ A 会議所では個人企業に簿記を教える。決算書を読んで融資推薦。
- ▶ どのような企業でも、経理担当でなくても、簿記・会計に触れる。商学士として、恥をかかないように。

質疑2 就職、職業

- ▶ ●成人になることと、社会人になることの最も大きな違いは何か？
- ▶ A 大学では授業料を払って社会人になる準備をした。
- ▶ 労働の対価として、お金をもらうこと。
- ▶ ●どうして商工会議所という職業を選んだのですか？仕事のやりがい？いつごろからなろうと決めていたのでしょうか？学生の頃から、道内で働くことを望んでいましたか。
- ▶ A 学生時代は大手企業しか考えず、道内就職は考えていなかったが、7年で転職。地域や社会と直接関わる今の職業に替えた。
- ▶ ●将来北海道に関わる活動をするためには一度北海道から本州などに出るべきでしょうか？視野を広げることが大切ですか？
- ▶ A 賛成。外に出て、外から眺めて初めて見える事は多いはず。

質疑3 北海道経済について

- ▶ ●北海道の経済は国からの投資や公共事業に支えられているという印象を持っているのですが、北海道がそこから自立するためには、どのような解決策が考えられるのでしょうか？
- ▶ A 明治に開発が始まった北海道は高速道路等必要なインフラが未整備だが、国の財政難のため公共工事は既にピーク時の半分以下。建設業者の減少が続く、今後もさらなる調整必要。今後の可能性ある分野は、食や観光分野などで、高く売る工夫を。
- ▶ ●現在、北海道に限らず全国的に少子高齢化が進み地域の衰退が叫ばれていますが、少子高齢化は地域の衰退にどれほどの影響があるのでしょうか？
- ▶ A 国全体として働き手が減る一方で年金受給者が増え社会保障の負担が増す。地域では消費が減少し、まちの活力が減衰する。今より高齢者が働く社会にする一方で、道外や特に海外（アジア）市場への展開が必要。
- ▶ ●北海道の発展ということを考えたときに、北海道の中で完結するような事業だけでは北海道の発展は望めないのでしょうか。
- ▶ A 地域の中での取り組みとして地産地消を拡大させることは重要。市場の評価を直接受けることで品質の改善につながる。また省エネルギー（輸送）にもなる。しかし一方で、長期的には縮小する道内市場のみでなく、国内や特にアジアの成長を取り込むことが不可避。

質疑4 TPPの北海道経済への影響

- ▶ ●北海道の経済にとり、農業はとても大切な分野と考えますが、TPPの受け入れによって北海道経済は今後どのような影響を受けるとお考えですか？またその影響を受けて北海道の農業分野の経済発展は期待できますか？
- ▶ A 世界的な貿易自由化の流れの中で、日本にとっても、農産品の自由化は避けて通れない。（門戸を閉じれば取り残される）
- ▶ 問題は、WTOの下でも以前より農業の自由化が取り上げられてきたにも拘らず長期的な農業の競争力強化策がなおざりにされてきたこと。
- ▶ TPP或いはEPAなどによって農産品市場が直ちに自由化されたら農業のみならず関連の食品製造業、商業、運輸業などが大きな打撃を受けると思われるが、数年あれば、農業強化の取り組み次第で北海道の農業の変革に期待できるのではないかと。
- ▶ ①大規模経営・法人化→スケールメリット、後継者確保、経営力、農業技術の伝承
- ▶ ②食味・品質・安全性のさらなる向上
- ▶ ③農業と商業、工業の連携による加工品開発や販路拡大
- ▶ ④生産品目の変更
- ▶ 例：十勝のビート（砂糖の関税325%）→豚の放牧、ブランド化